

山田中健、加藤康男、西川克之、鈴木鉄也、久保田修子
柴崎松夫

天候に恵まれ、両日とも、快適に過ごすことができた。鈴木さんが、先頭を歩いてくれる。取り付きは、宝台樹スキー場はるか先の、林道が、左カーブする辺りだ。林道をショートカットしながら歩く。1時間程度の所で、柴崎さんのビンディングのプレートがまっぷたつに折れた。プラスチック製である。まだ、3シーズンしか使っていないとのことだ。近い事、天気がいいので、1人で帰ってもらった。

名倉川沿いを歩き、源頭部を詰める。夏道より、少し南の小尾根を登った。1630メートルの尾根歩きは、スキーハイキングだ。1670メートル辺りにテントを張った。直ぐ北の沢に避難小屋がある。時間が早いので、頂上を往復をした。

1980メートルの、頂上より北の木のないコルを目指した。手小屋沢を渡って、左岸を登った。日差しが強く、シールが滑ってしまう。コルからは、手小屋沢のほうからまき気味に登った。頂上まで、シールが使えた。少しシュカブラが硬い。頂上からは、四隅の山々が見事だ。下りは、往路をとった。400メートルほど、やや気持ちよく滑れる。上部は、快適だが、下半分は、トラバース気味で、難しい。

16日(月)

快晴である。前日のコルまで行くことにする。沢を随分奥まで詰めて、左岸に取り付いた。前日より、こちらの方が、直登で、疎林になり、登りやすい。コルからは、右岸を下った。沢を1本越え夏道の辺りを下るが、こちらは、藪が濃い。テント場まで、20分だ。

名倉川の源頭部は、大きな樋の木が2本ある辺りからはいるのがいい。今回登って来たルートだ。1450メートル辺りからは、藪の濃い沢を、ショートターンで下る。テント場から、約1時間で山の家という民宿の前まで、下った。

タイム： 15日 快晴 民宿山の家前8：20 林道、柴崎さん帰る9:00 20
名倉川詰め、大岩付近10:10 25 テン場11:30
12:20 1980メートルコル1:15 25
頂上2:30 50 テン場3:25

16日快晴 テン場8:55 1980メートルコル9:50 10:05
テン場10:25 11:20 1630メートル、名倉川
下り11:50 12:00 民宿前12:35 バス停
12:45

